

2025 年度

中 京 大 学

進化型実務家教員養成  
履修証明プログラム  
【心理カウンセリングコース】  
案内

プログラム設置研究科 <キャンパス>	担当窓口
心理学研究科 <名古屋キャンパス>	社会連携部 TEEP 担当 <名古屋キャンパス4号館2階 社会連携教育センター> Mail : social-eng@ml.chukyo-u.ac.jp 〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町 101-2

## ＜進化型実務家教員養成履修証明プログラムについて＞

「進化型実務家教員養成プログラム（Training for Emerging Educators and Practitioners : 以下「TEEP」という）」は、名古屋市立大学と本学を含む複数の大学と共同で行う履修証明プログラムです。

TEEP は、単に実務を大学等で語る人材を育成するのではなく、高度化・複雑化した社会の動向や最先端の技術等を学生、社員、あるいは市民にわかりやすく解説し啓発する役割を担う高度専門人材を育成することを目的としています。社会的ニーズを反映した PBL（Project-Based Learning 課題解決型学習）や多職種連携に関するプランニング能力を習得し、かつ、それらの能力を生かして、学生一人ひとりに対して個別指導ができる進化型実務家教員を育成することも目的の一つです。

TEEP には、「基本コース」と「専門コース」があります。「基本コース」は、名古屋市立大学が受入れを担当し、進化型実務家教員になるうえで必要不可欠な能力の習得を目的としたコースです。本学は複数の専門コースのうち、「心理カウンセリングコース」と「スポーツマネジメントコース」を担当し、受入れを行います。

## ＜心理カウンセリングコースについて＞

専門コースの中でも、主として医療保健機関・相談機関（教育分野、福祉分野、産業分野、司法・更生分野における当該機関または部門を含む）での臨床実務経験又は対人支援実務経験が5年以上ある者等を対象としています。臨床実務経験または対人支援実務経験を積んだ者が、さらに多様性を包摂し、持続可能性および共助の精神を内包した社会を担う高度専門人材となるよう養成することを目的とし、臨床心理学系大学教員に求められる臨床教育・臨床研究、社会の中の生涯発達支援及びダイバーシティの包摂に関する基礎的能力の養成等を内容としたカリキュラムを提供するものです。

## 1. 修了要件

次の①～③をすべて満たすこと。

- ①必修の PBL 演習を履修し所定のレポートを提出し、その提出したレポートが合格基準に達していること
- ②選択科目を 3 科目以上履修し、単位修得していること
- ③心理学研究科委員会が上記①および②を確認のうえ、修了を認めていること

授業科目		修了所要単位
実践と理論の融合（PBL 演習）	22.5 時間	必修
心理学研究法（2 単位）	22.5 時間	3 科目以上選択
人格発達心理学特論（2 単位）	22.5 時間	
臨床発達心理学特論（2 単位）	22.5 時間	
育児支援特論（2 単位）	22.5 時間	
家族心理学特論（2 単位）	22.5 時間	

## 2. 授業科目の概要（対面型授業はすべて名古屋キャンパス開講です）

科目名	担当者	実施方法	曜日 時限	概要
実践と理論の融合 (PBL 演習)	神谷栄治	対面・オンライン 併用型	適宜	実務経験の中で得た知識や事例を連携やチーム支援といった視点から検討し、心理カウンセリングにおける実践的かつ体系的な知識と課題解決能力を習得する。
心理学研究法	川島大輔 宮崎由樹 伊藤資浩	対面型	木曜 5限	心理学諸領域の研究法について、問いの立て方からそれに合う研究法の選び方まで研究の実践力と遂行力を修得することを目的とする。特に研究倫理、調査倫理に重点をおいて学ぶ。
人格発達心理学 特論	水野里恵	対面型	月曜 2限	教材（例；McAdams, D. P., Shiner, R. L., & Tackett, J. L. (Eds.). (2019). Handbook of personality development. The Guilford Press.等）に基づいて、気質・パーソナリティの発達に関する理論的枠組・測定法について討論する。
臨床発達心理学 特論	川島大輔	対面型	木曜 2限	喪失によるグリーフとケアについての知識と実践的技能の習得を目指して、講義とワーク、輪読を行い理論と知識を深める。
育児支援特論	小島康生	対面型	木曜 1限	子どもが育つ場である家庭と保育の現場に注目し、それぞれの特徴、ならびに現在起こっている問題や地域での支援について学ぶ。
家族心理学特論	田中尚樹 藤田博康 川合裕子	対面型	集中 ※日程 はお問 い合 わせ くだ さい	家族心理学、とりわけ、心理臨床実践において必要な家族理解の方法や、心理臨床実践に活用しうる種々の家族療法や家族支援、グループアプローチについて解説する。また、地域社会における育児支援の実践や機関連携等についても学ぶ。

※上記の担当者・時間割は変更の可能性がございます。

### 【授業時間】

1限 9:00~10:30 / 2限 10:45~12:15 / 3限 13:10~14:40  
4限 14:55~16:25 / 5限 16:40~18:10

### 3. 授業の受講方法

#### 〔PBL 演習〕

必修となるPBL 演習「実践と理論の融合」は、担当教員が、対面またはオンラインによって指導を行います。本科目の日時については他の履修科目を決めた後、受講者と相談して適宜決定します。また授業内でこれまでに取り組んだ実践内容や事例について取り上げることがあります。総時間数は 22.5 時間となる予定です。

#### 〔選択科目〕

選択科目は 5 科目から 3 科目以上を選択します。全ての科目は毎週決まった曜日と時間に実施されます。自身のスケジュールや学習環境に合わせて受講する科目を選択できます。

なお、選択科目は心理学研究科博士前期課程（修士課程）の配当科目であり、大学院生とともに受講します。少人数科目であり、教育効果をあげるため、基本的に対面型で行われる予定です。また、履修科目の選択は、事前に本プログラム担当教員に履修相談することを推奨します。

### 4. コース受講に関する留意事項

- 選択科目については全ての講義を受講することも可能です。しかし、受講科目数に応じて追加の履修料が必要になります。
- 各科目の評価は科目担当教員が行います。
- 履修する科目選択は「専門コース（心理カウンセリングコース）志願書」にて申請してください。
- 各科目のシラバス（講義概要）は 2025 年 3 月中旬から中京大学公式 HP にて確認ができます。
- 講義（オンライン型、対面型問わず）では資料の配布、課題提出などをweb 上で実施する場合があります。パソコンと通信環境をあらかじめご準備ください。

### 5. その他

- 修了が認められた者には履修証明書を発行します。

以上